働き方改革に取り組む企業を訪問
～山口労働局長と中国運輸局山口運輸支局長がベストプラクティス企業を訪問しました～

山口労働局（局長　鈴木輝美）では、11月の**「過重労働解消キャンペーン」**の取組の一環として、令和８年11月13日（金）、働き方改革に取り組むベストプラクティス企業を訪問しました。

本年度は、「やまぐち物流2024年問題の解決に向けた共同宣言（令和６年３月26日採択）」を踏まえ、山口労働局長と中国運輸局山口運輸支局長が、長時間の荷待ちの改善、女性や若者等の多様な担い手の確保等に取り組んでいる防府通運株式会社と意見交換を行い、併せて実際の取組現場の視察も実施しました。

ベストプラクティス企業の紹介

企 業 名　**防府通運株式会社**

所 在 地　山口県防府市浜方114－2

創　　業　1937年3月

労働者数　77名

事業内容　一般貨物自動車運送事業・物流倉庫業等



訪問した企業との意見交換の様子

訪問者

山口労働局　局　長　鈴木　輝美
中国運輸局山口運輸支局　支局長　木本　秀樹

面接者（敬称略）

防府通運株式会社　代表取締役社長　橋口　平
防府通運株式会社　総務部長　白井　悦子



（木本運輸支局長）

（鈴木労働局長）

（左）白井部長

（右）橋口社長

働き方改革の取組



働き方改革に取り組まれたきっかけを教えてください。

人材確保や2024年問題への対応ももちろんですが、創業100年に向け持続的に成長するためには、当社の根幹である人と現場を守ることが不可欠です。そのため、DX化や自動化・省力化設備に投資してまいりました。



時間外労働削減、荷待ち時間解消等の取組

防府通運株式会社では、鉄道を使った輸送のため長距離輸送はほぼなく、自動車運転者の時間外労働は概ね月10時間程度でした。また、荷主との関係も良好であり、無理な発注や運賃交渉などのトラブルもなく、物価高騰や人件費上昇を踏まえた適正運賃の交渉もいただいており、円滑な運行ができています。

倉庫内では、様々な運送会社が荷積み・荷下ろしを行っています。以前は電話と紙媒体の予約表による非効率なものでしたが、**トラック予約受付サービス【1】**を導入後、自動車運転者が空き時間を指定することで荷待ち時間の解消を概ね実現しました。また、**自動車運転者が自由に利用できるトイレ【2】**も完備しており、利便性向上にもつながっています。

また、以前の荷役作業は有人でのフォークリフトによるものでしたが、**無人搬送ロボット【3】**を導入したほか、以前は紙媒体で行っていた荷の管理を二次元バーコードに変更しました。自動化・省力化を図ったことで、倉庫内作業者の時間外労働も大幅に削減しました。

トラック予約受付サービス【1】





自動車運転者が自由に利用できるトイレ【2】



無人搬送ロボット【3】



両局長インタビュー





貴社ではどのような休暇制度がありますか。

比較的短時間で利用できる**「時間単位年休」**を2022年度に導入したところ、社員の88%が利用しており好評です。また、自分や家族の記念日を大切にしてほしいという思いから**「アニバーサリー休暇」**を2024年度に導入し、2025年度には年間2日に拡充しました。年休取得率も平均14.2日に上昇しました。





次世代育成に取り組んだきっかけなどを教えてください。

私（橋口社長）自身子育て世代ということもあり、若手や子育て世代が安心してキャリアを継続できる会社を目指したことがきっかけでした。2024年には労働局長から**「くるみん認定」**をいただいたほか、**「やまぐちとも×いく企業」**、**「働きやすい職場認証」**等の外部認定もいただいており、励みになっています。

働き方改革に取り組んだ結果と今後の抱負について教えてください。

【働き方改革に取り組んだ結果】休暇取得が当たり前になると社内に「お互い様」の雰囲気が形成され、より一層休暇取得が進みました。募集採用においても、ワークライフバランスに力を入れていることをアピールポイントとした結果、新卒中途を問わず応募数が増加しており、離職率も低下しています。社内の雰囲気も良好です。

【今後の抱負】生産性を向上させるためには人への投資が不可欠です。女性や高齢者等多様性に配慮し、安心して働ける環境づくりをさらに進めます。

視察の状況





若手社員インタビューの様子



若手社員さんにインタビューする両局長

若手社員さんインタビュー

第二子ご誕生を機に育児休業を取得した男性自動車運転者にインタビューしました。

育児休業を取得することで同僚に負担をかけてしまわないか不安でしたが、上司や総務部から取得勧奨のお声がけをいただいたので、安心して取得できました。休暇は「お互い様」なので、チーム全体でフォローする体制が整備されていたことも大きかったです。



※企業HPからの引用

復帰後は同僚や上司の皆さんに温かく迎えていただき、運行計画にご配慮をいただいたり、子供の突発的な体調不良の際にも柔軟に対応いただける雰囲気があり助かりました。しっかり成果を出して恩返ししようと思います。

休みもとりやすく残業もほぼありません。アニバーサリー休暇は家族の誕生日で使用しました。育児休業を経験することで仕事に対するモチベーションも高まりました。
また、家族が増えたことでより安全運転を意識するようになりました。



終了後の記念撮影

視察後の局長の講評

防府通運株式会社は荷主との協力を通じ、荷待ち時間の解消を目指し、自動車運転者の立場に立って物流の2024年問題の解決に向けた様々な取組を行っていました。

また、働き方改革を進めるために、業務のICT化、自動化・省力化により現場作業の負担を軽減していたほか、働きやすい職場をつくるため、各種休暇制度も拡充し労働者も積極的に利用できる体制を構築していました。

ワークライフバランスを確保することで、労働者のモチベーション向上や安全につながるような様々な取組が多くの企業で取り組まれることを期待いたします。

山口労働局労働基準部監督課　（R8.11）